

# 社大福祉フォーラム2013

(第52回 日本社会事業大学社会福祉研究大会)

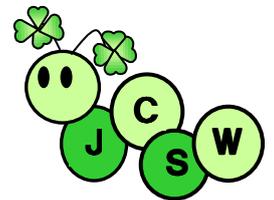
《大会テーマ》「希望としてのソーシャルワーク —記憶・くらし・再生—」  
 《日 程》2013年6月22日(土)・6月23日(日)

<1日目> 6/22(土) プログラム

9:30	10:00	10:15	10:30	12:00	12:30	13:00	14:30	14:40	15:20	15:50	16:30	17:15	17:30	19:00
受付(講堂)	開会式	新任教員紹介	教員研究報告 被災地報告 ※パソコン通訳あり	学内学会総会	休憩	基調講演 権名 誠 氏 ※パソコン通訳あり	休憩	名誉博士号授与式 スピーチ ※手話通訳あり	学生研究奨励賞贈呈式 木田賞贈呈式	木田賞受賞記念スピーチ	サークルセッション	懇親会 参加費無料		
	同窓会幹事会						タイ国際ワークショップ・スタディツアー報告(A202)			保育実践報告(A401)				
	10:30		12:00				14:40		15:20		16:40		17:20	

<2日目> 6/23(日) プログラム

9:30	10:00	12:00	13:00	15:00
受付(A棟)	分科会(A棟・C棟 各教室)	休憩	分科会(A棟・C棟 各教室)	ADSW認定証授与式 実践報告発表会(C601)
				14:00



社もむしくん

《会 場》 日本社会事業大学(講堂・A棟・C棟 他教室)

《ご案内》

- ① 参加資格 どなたでも参加できます。参加者は、必ず受付をお通り下さい。
- ② 受 付 6月22日(土)講堂/6月23日(日)A棟1Fホール 9:30~
- ③ 参加費等 無 料
- ④ 懇 親 会 6月22日(土)17時30分より学会・同窓会・大学共催で行われます。
- ⑤ パソコン通訳 1日目、教員研究報告・被災地報告・基調講演にはパソコン通訳が付きま。
- ⑥ 昼 食 等 6月22日(土)生協食堂・購買が利用できます。  
 営業時間 生協食堂 12:00~13:00/購買 11:30~13:00  
 6月23日(日)購買のみ利用できます。  
 営業時間 購買 12:00~13:00(生協食堂は閉店)
- ⑦ そ の 他 駐車スペースがありませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。  
 内容・スケジュールは変更になる場合がございます。ご了承ください。  
 障害等のために特別な配慮が必要な場合は、あらかじめお申し出ください。  
 (当日お申し出の方はできる範囲で対応いたします。)

※6月23日(日)12:30~17:00 大学院等合同説明会を開催しています。  
 (A301教室~A309教室)

開会式

10:00 ~ 10:15

[講堂]

開会の挨拶

新任教員紹介

10:15 ~ 10:30

[講堂]

- ・菊池 いづみ (学部教授)
- ・鶴岡 浩樹 (専門職大学院教授)
- ・有村 大士 (学部准教授)
- ・小田 美季 (学部准教授)
- ・木村 容子 (学部准教授)
- ・村田 文世 (学部准教授)
- ・上村 勇夫 (実習教育研究・研修センター実習講師)
- ・大山 早紀子 (通信教育科専任教員)
- ・大島 千帆 (社会事業研究所特任准教授)
- ・永井 保男 (学部特任教員)

教員研究報告 (パソコン通訳あり)

10:30 ~ 11:00

[講堂]

司 会： 古屋 龍太 (専門職大学院・学部准教授)

★ 介護福祉士が支援を行う「要介護状態の高齢者の生活」に関する調査

下垣 光 (学部准教授)

【共同研究者】 中島 健一 (学部教授) ・天野 由以 (目白大学人間学部専任講師/院前期 2006 年卒)  
岸野 靖子 (実習教育研究・研修センター) ・大島 千帆 (社会事業研究所特任准教授/院後期 2006 年卒)  
安 瓊伊 (院後期 3 年/院前期 2011 年卒/学部 2009 年卒)

被災地報告 (パソコン通訳あり)

11:00 ~ 12:00

[講堂]

司 会： 古屋 龍太 (専門職大学院・学部准教授)

★ 被災外国籍等住民支援のための当事者主体の支援体制構築

“Nothing About Us Without Us”

山口 幸夫 (社会事業研究所特任准教授)

★ 被災地における子ども会活動から学んだこと

一気仙沼市・東松島市でのボランティア活動を通してー

災害支援ボランティアセンター・ボランティアグループ cocoa

学内学会総会

12:00 ~ 12:30

[講堂]

基調講演 (パソコン通訳あり)

13:00 ~ 14:30

[講堂]

司 会： 古屋 龍太 (専門職大学院・学部准教授)

# 椎名 誠 氏 「何をめざして生きていくか」

プロフィール

1944年東京都生まれ。作家。  
1979年より、小説、エッセイ、ルポなどの作家活動に入りました。  
これまでの主な作品は、『犬の系譜』(講談社)、『岳物語』(集英社)、『アド・バード』(集英社)、『中国の鳥人』(新潮社)、『黄金時代』(文藝春秋)など。  
近著は、『ガス燈酒場によろしく』(文藝春秋)、『三匹のかいじゅう』(集英社)、『につぼん全国 百年食堂』(講談社)。  
最新刊は、『流木焚火の黄金時間 ナマコのからえぱり7』(毎日新聞社)、『ぼくがいま、死について思うこと』(新潮社)。  
旅の本も数多く、モンゴルやパタゴニア、シベリアなどへの探検、冒険ものなどを書いています。  
趣味は焚き火キャンプ、どこか遠くへ行くこと。

名誉博士号授与式・スピーチ（手話通訳あり） 14:40 ~ 15:20 [講堂]

- 樋口 恵子（NPO 法人高齢社会をよくする女性の会理事長）

樋口恵子氏は、1987年に日本社会事業学校専修科に入学した経歴を持っており、東京家政大学名誉教授であり、福祉・介護関連問題、家族関係、女性問題の著名な評論家として、長年にわたり社会的に影響のある言論と社会的行動で日本をリードして来られたオピニオンリーダーである。多くの福祉・介護問題、男女共同参画問題に関する著作を有し、大きな社会的な影響力を発揮して来られたことから、この度、日本社会事業大学名誉博士記の称号を贈呈することになった。

学生研究奨励賞・学会(木田)賞贈呈式 15:20 ~ 15:50 [講堂]

【学生研究奨励賞受賞者】

- ・荒井 静香（2013年3月 学部福祉援助学科 卒業）
- ・岸 久美子（2013年3月 学部福祉援助学科 卒業）
- ・小嶋 正人（2013年3月 学部福祉援助学科 卒業）

【木田賞受賞者】

- ・秋田谷 秀敏（本科 1950年卒）
- ・佐藤 勝彦（学校法人吉田学園専門学校北海道福祉大学校非常勤講師  
／札幌大谷大学短期大学非常勤講師／学部 1966年卒）
- ・大澤 愛子（社会福祉法人横須賀基督教社会館 田浦・逸見地域包括支援センター施設長  
旧姓（長谷川）／学部 1984年卒）
- ・三浦 博幸（社会福祉法人愛恵協会統括施設長／学部 1975年卒）

学会(木田)賞受賞記念スピーチ 15:50 ~ 16:30 [講堂]

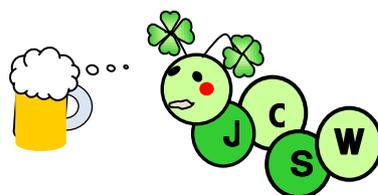
サークルセッション 16:30 ~ 17:15 [講堂]

【参加サークル】 混声合唱団菩提樹・マンドリンアンサンブル・手話サークルてまり

- ★ 混声合唱団菩提樹は、定期演奏会や学園祭での発表に向けて日々練習に励んでいます。  
《曲目》 ・校歌 ・君をのせて（ジブリ） ・花は咲く（NHK）
- ★ 手話サークルてまりでは、手話コーラスを通じて、手話や聴覚障がいについて学んでいます。  
みなさんに、目で見える音楽を届けます。  
《曲目》 ・Butterfly
- ★ マンドリンアンサンブルでは、年に一度の定期演奏会を主とし、その他の様々な場所からの依頼演奏などの活動をしています。  
《曲目》 ・大きな古時計 ・青い山脈
- ★ 混声合唱団菩提樹・マンドリンアンサンブル・手話サークルてまりの合同曲  
《曲目》 ・チェリー

懇親会(学会・同窓会・大学共催)参加費無料 17:30 ~ 19:00 [厚生棟食堂]

お寿司等お食事を用意しております。お気軽にご参加ください。



コーディネーター：山口 幸夫（社会事業研究所特任准教授）

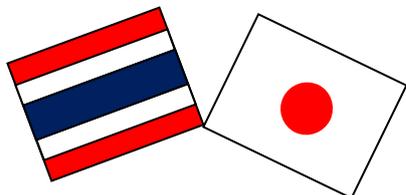
★【グローバル化の中の移住者と創造的社会福祉】 次世代のエンパワメント  
Migrant and creative social welfare in globalization -Empowerment The Next Generation -

日本社会事業大学アジア福祉創造センターでは本学の学術交流協定校や国際機関、NGO とのネットワークを生かして海外ソーシャルワーク研修を行っています。

本年度は本学協定校であるタマサート大学（Thammasat University）と共同で国際移住女性と子どもの支援について、特に次世代の育成に焦点を当てた国際ソーシャルワーク研修を行いました。

その成果の学生発表とともに、国際移住労働者とその子ども家族の支援で国際的にも高く評価されているタイのLPN（労働権推進ネットワーク）ソンポン・スラケウ代表に講演をしていただきます。

タマサート大学デチャ教授、および在日タイ人NGOの皆さんをお迎えしてフロアの皆さんと質疑討論を行います。



コーディネーター：金子 恵美（学部准教授）

★ 保育実践シンポジウム

多様な領域で活躍している卒業生をお呼びしてシンポジウムを開きます。

シンポジスト

- ・ 保育所の保育士
- ・ 児童相談所の児童福祉司・一時保護施設の保育士
- ・ 発達支援センター等児童福祉施設のソーシャルワーカー
- ・ 市町村の生活保護ワーカー・児童相談担当員 など

在学生との意見交換を通して、子ども家庭領域で、ソーシャルワークとケアワークを兼ね備えた本学の人材に期待される役割を探ります。



## 第2日目 6月23日(日)午前／分科会

### 専門職とサービスの質

10:00 ~ 11:30

[A201]

司会者：手束 美和子（院前期1年）

助言者：菊池 いづみ（学部教授）

- ★ 日本の介護福祉士・看護師養成における専門的準備教育導入の可能性  
ーデンマークにおける基礎コース（Grundforløb）を参考にー  
高木 剛（浦和大学短期大学部専任講師／院前期 2004 年卒）
- ★ ソーシャルワーカーの事例検討会に関する考察（1）…何を言語化するか、何を検討するか…  
川村 博文（聖徳大学／日本社会事業大学非常勤講師／院前期 2008 年卒）
- ★ ホームヘルプサービスにおけるワーカーズ・コレクティブの可能性  
梅原 幸子（院前期 2005 年卒）

### 子ども家庭支援

10:00 ~ 11:30

[A202]

司会者：中村 匡貴（院前期1年）

助言者：有村 大士（学部准教授）

- ★ 里親委託継続のための養育環境構築に関する一考察  
ー思春期の養育負担の予防に焦点をあててー  
赤石 達樹（院前期1年／学部 2013 年卒）
- ★ 子どもネグレクト家庭の構造の解明に関する研究  
安部 計彦（院後期 3 年）
- ★ 中学生のいじめ問題に関する国内研究の類型と変遷  
大矢 正則（院後期 1 年）

### 障がい児者支援

10:00 ~ 11:30

[A402]

司会者：仁科 雄介（院前期1年）

助言者：小田 美季（学部准教授）

- ★ 知的障害児・者親の会活動をプログラム評価にあてはめることは可能か  
於保 真理（院後期 3 年／日本社会事業大学非常勤講師／院前期 1996 年卒）
- ★ 「障害者の減災対策と地域ネットワーク」  
～大和市自立支援協議会身障部会の実践事例～  
星野 宗吾（社会福祉法人福慶会 福田の里相談支援施設長／通信教育科社会福祉士養成課程 2003 年卒）
- ★ 集団自由あそびを活用した発達障害児療育の実際  
～愛着形成と関係性支援～  
大曾根 邦彦（心身障害児者療育会きつつき会代表理事・施設長／専修科 1979 年卒）

### ポスターセッション

10:00 ~ 11:30

[A101]

司会者：日下 公佑（学部1年）

助言者：黒川 京子（実習教育研究・研修センター実習講師）

- ★ 介護福祉士養成施設の学生の介護福祉士のイメージに関する研究  
ーどのようにイメージが変化するかー  
田口 潤（院後期 2 年／日本社会事業大学非常勤講師）  
下垣 光・田中 由紀子（学部准教授）  
大島 千帆（社会事業研究所特任准教授／院後期 2006 年卒）
- ★ 関連職種連携教育における ICF の活用に関する一考察  
山口 佳子（国際医療福祉大学専任講師／院前期 2008 年卒）
- ★ 社会福祉士養成教育における相談援助実習の意義と課題  
小柳 達也（八戸学院大学人間健康学部専任助教／専門職大学院 2009 年卒）

## スタディツアー報告(佐々木ゼミ)

10:00 ~ 11:30

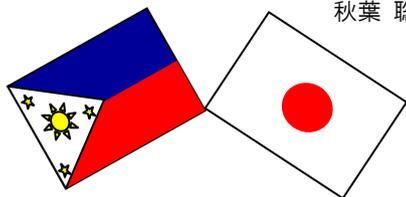
[A棟ロビー]

コーディネーター：佐々木 由恵（学部教授）

### ★ スタディツアーin フィリピン ～フィリピンの養老院、孤児院から見えるもの～

フィリピンの養老院での活動報告と、日本の老人福祉施設との比較。フィリピンの孤児院（HOJ）での活動報告と、日本の児童養護施設との比較。HOJからのビデオレターの鑑賞。

秋葉 聡太・米山 あずさ・境谷 美穂・長岡 玲香・花摘 綾太・北條 彩加・吉田 博美(学部4年)



## 学生企画 社大福祉ネットワーク

10:00 ~ 12:00

[C304]

### ★ 地域のつながりって何だろう？

私たちが普段何気なく暮らしている“まち”その“まち”について一緒に考えてみませんか？

この企画を通して身近な問題を福祉の観点から考え、地域のつながりを意識してもらえればと思います。

## 障害学生支援の現状

10:00 ~ 12:00

[A401]

ゲスト講師：金澤 貴之氏（群馬大学教育学部障害児教育講座准教授）

### ★ 日本社会事業大学における障害学生支援の現状について

障害者基本法の改正に伴い、障害のある学生に対する合理的配慮の提供が、全ての大学に求められる時代になり、現在、障害学生支援の動きは全国的に広まってきている。本学でも2012年度に視覚障害のある学生への支援を障がい学生支援組織CSSOが中心になり活動した。しかし、様々な困難さが生じ、学生団体の限界を痛感した。

上記の経験を踏まえ、本分科会では、群馬大学の金澤貴之准教授をお迎えし、昨年12月21日に提出された「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報告（第一次まとめ）」の解説と本学の障害学生支援の現状に関してコメントをいただき、本学が目指す障害学生支援について議論する。

二神 麗子・清水 優江（学部4年）

## スクールソーシャルワーク実践の展開

10:00 ~ 12:00

[C301]

コーディネーター：内田 宏明（学部専任講師）

### ★ 文科省事業としてスクールソーシャルワーカーの配置がなされてから5年度目となる。

この間の実践を実践者自身が検証し、今後の方向性をさぐっていきたい。

内田 宏明（学部専任講師）

芦田 正博（学部 1990年卒／専門職大学院 2008年卒）

瀬戸本 むつ美（専門職大学院）

## 精神保健福祉士の実践

10:00 ~ 12:00

[C601]

コーディネーター：古屋 龍太（専門職大学院・学部准教授）

### ★ 精神保健福祉士課程の卒業生・現役学生・院生が集うホームカミングディ

現場PSWと共に、体験を交流し、実践上の課題を探ります。

大嶋 巖（学部教授）・贅川 信幸（社会事業研究所准教授）

添田 雅宏・大山 早紀子（通信教育科専任教員）

## 第2日目 6月23日(日)午後／分科会

### まちづくり・つながり

13:00 ～ 14:30 [A202]

司会者： 笠井 織夢（学部1年）

助言者： 村田 文世（学部准教授）

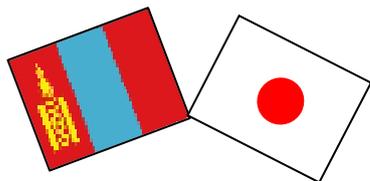
- ★ 地域福祉実践とソーシャルエンタープライズの可能性  
～韓国における社会的企業の現状を踏まえて～  
趙 晤衍（敬和学園大学教授／院前期 1998 年卒）
- ★ 西東京市社会福祉協議会の協力員制度に関する意義と課題  
— 東村山市社会福祉協議会との比較での考察 —  
三輪 秀民（日本社会事業大学非常勤講師／院前期 2004 年卒）
- ★ つながりの形成をリレーションシップ、コミットメント概念を用いて解釈する試み  
北場 勉（学部教授）

### モンゴル滞在報告

13:00 ～ 14:30 [C302]

- ★ 私達は、今年と昨年の3月に8日間ずつモンゴルに滞在しました。その中で、モンゴルの児童養護施設への訪問・モンゴル国立大学の学生との交流の機会がありました。その経験を通じて学んだことをモンゴルの文化の紹介を含め、社会福祉研究大会で報告したいと考えています。  
(※教室にてモンゴルの子も達が描いた絵を展示しています)

鈴木 彩乃・伊藤 久美子・金 夏望・鈴木 結衣・根本 夏恵(学部3年)



### 福祉起業家サミット

13:00 ～ 15:00 [A401]

コーディネーター： 宇野 裕（前学校法人日本社会事業大学専務理事）

- ★ **現代社会の福祉的課題に対して起業家として挑戦する人々の姿を追う！**  
本分科会では、現代社会が抱える様々な福祉的課題に対し、自らの力や資金によって社会起業家として挑戦している卒業生をお招きし、その実践と挑戦への道のりについて伺う。持続可能な法人経営について求められる本質とは何か。起業して間もない法人が抱える課題とは何か。そして、本校の大学名にもある社会事業がこれからどうあるべきかを参加者の方々と共に考えていきたい。

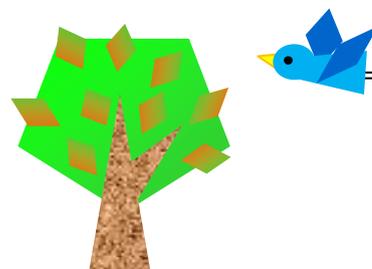
シンポジスト： 藤野 将睦（ビーサイドユー株式会社 代表取締役／専門職大学院 2007 年卒／学部 2006 年卒）  
～障害者への24時間在宅介護派遣を实践～  
西隈 亜紀（特定非営利活動法人東京フレンズ 理事長／院前期 2012 年卒）  
～精神障害者のグループホーム「キキ」を経営～

### 介護実践報告

13:00 ～ 15:00 [A402]

コーディネーター： 田中 由紀子（学部准教授）

- ★ 『介護福祉実習を担う先輩と実習生の交流』介護福祉コース ホームカミングデー  
介護福祉実習を担当している卒業生を（介護コース出身者）招き、受け入れ側から見てきた学生への助言をいただき、出席者と交流を行なう。



清瀬 3大学交流研究発表会

13:00 ~ 15:00

[C602]

### ★ 分野の違い・一緒に出来ること

私たちは福祉中心に学んでいるけれど、他の分野から見た福祉ってどんなものなんだろう？他の分野の大学の人はどんなことを学んでいるんだろう？せっかく清瀬に3つの大学があるのに、交流がないんだろう？そんな思いから今回の企画が始まりました。

私たちの思いを知って集まって下さった国立看護大学校、明治薬科大学の方々と一緒に、今年のフォーラムのテーマでもある震災についてのパネルディスカッションやグループワークを行います。それらを通じて、それぞれの視点・思いの共通点や違いを知り、自分たちの分野についての理解も深めようと思います！

国立看護大学校（有志）／明治薬科大学（有志）／本学（学内学会幹事有志）

ADSW 認定証授与式・実践報告発表会

13:00 ~ 14:00

[C601]

### ★ 専門職大学院プログラム

専門職大学院の認定するアドバンス・ソーシャルワーカーの実践報告と認定証授与式を行います。

アドバンスソーシャルワーカー認定者・実践報告発表者：芦田 正博 氏（専門職大学院 2008 年卒業）

テーマ：「スクールソーシャルワーカーとしての実践を振り返る

～児童虐待事例に対しての効果的な支援に焦点をあてて～

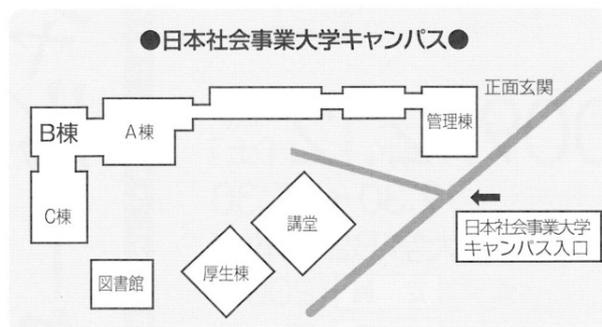
### ★ 大学院等合同説明会

12:30 ~ 17:00

[A301 ~ A309]

主に社会人を対象とした研究大学院・専門職大学院・通信教育科・学部3年次編入の入試説明会です。仕事を続けながら学んでみたい方、現場の課題で悩んでいる方、福祉の専門職・国家資格を目指す方を応援します。在学中の方もご参加いただけます。個別相談会も実施します。

### 交通機関のご案内



交通機関

西武池袋線「清瀬駅」下車（池袋より準急で24分）

南口ターミナル2番より西武バス8分

●「下里団地」行又は「花小金井」行き「社会事業大学前」下車、徒歩1分

●「久米川」行き「東京病院北」下車、徒歩5分

主催  
後援  
お問い合わせ

学校法人日本社会事業大学／日本社会事業大学社会福祉学会  
日本社会事業大学同窓会  
〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30  
学校法人日本社会事業大学 校友室（社会福祉学会事務局）  
Tel 042-496-3053 Fax 042-496-3051